17t235 小林飛翔 演習課題9

迷路を表示するだけのコードの主な処理を算譜1に示す。print_map()では、2重の繰り返し構文を用いることで、盤面を表現している。また、添字の変数にはrow,colとすることで、縦と横が混同しにくいようにした。それぞれの繰り返し条件は、0から始まり、 MAP_SIZE (5)になると処理をせず終わる。増加は1ずつである。列挙型のchipに対応した文字列を、2次元配列mapから参照する。図1に実行結果を示す。

1	void print_map(){
2	int col,row;
3	$for(row = 0; row < MAP_SIZE; row++){$
4	$for(col = 0;col < MAP_SIZE;col++){$
5	<pre>printf("%s",chip_disp[map[row][col]]);</pre>
6	}
7	puts("");
8	}
9	}
10	
11	int main(void){
12	print_map();
13	int input;
14	// input = get_input(INPUT_MIN,INPUT_MAX);
15	return 0;
16	}

算譜1迷路を表示するコード



図1 実行結果のキャプチャ